

思わず手のひらで撫でてしまいたくなる曲面で  
春の柔らかな光を 控えめに反射している

竹ってほんとに光るんだ・・・

少し湿り気のある土を足裏に感じて  
光の壁が作る道を歩いて行く  
この道は何処に続いて行くのだろうか？

微かに水の匂い  
目には見えないのに 耳には聞こえないのに  
台地の中を流れている 水脈を感じる

誰の声も聞こえない 朝の空気の中  
私の鼓動が 大きく聴こえてくる

ひばりが丘の街に和を描く  
コミュニティメディア



MACHINI-WA HIBARIGAOKA		vol.
2017	Spring	09



## まちにわ師活動日誌 #4 「スポーツを一緒に楽しむ仲間ができました！」 藤本正俊

走ることが好きな近所の仲間と月に一回、ひばりが丘のまちをランニングをしています。きっかけは、昨年行われたマンション住民のウェルカムパーティーでした。偶然、ランニングの趣味の方とお話ができてそこから盛り上がり、チームを作りました。

昨年末には小金井公園で開催されたフルマラソンをリレー形式で走る大会にも挑戦いたしました。70 チーム中6位（2時間56分）と大健闘しました。

また、ふだんは桜の季節では多摩湖自転車道や、小金井公園をお花見ラン。夏には走り終わってそのまま落合川でいい大人たちが水浴び。

これからも、季節にあわせランニングを楽しんでいきたいと思っています。夢はみんなで、ホノルルマラソンです。初心者の方から本気の方までさまざまなメンバーがあり、お話ししながら走れるペースです。参加していただいた方は10歳から60歳と幅広い年齢層ですので、みなさまお気軽にご参加ください！

ランニングの他にもゴルフ好きな仲間とゴルフ部を発足しようと画策中です！もし、ご興味のあるイベントがあったらぜひ、一緒に楽しみましょう！！



### イベントプレイバック

これまでのまちにわひばりが丘主催イベント

参加者合計のべ **3,041** 名

去年も行った立派な雑節りを展示し、ひなまつりを開催。お琴の演奏や、お茶会など、お子さんもご年配の方もひばりテラス118にお越しくださいました。また、ひばりが丘団地自治会と共催した防災講座では、ひばりが丘団地エリアに住む方々が集まり、有事の際の気づきを得ることができました。そして、4月のひばりが丘には気持ちのいい春の季節が到来。さくらまつりが実施され、花見を楽しむ方も賑わいました。



### 「街に和」の重要性

近くで暮らす人がどんな人かを知っていると、  
困ったときに助け合えて、毎日がもっと楽しくなる。



#### 暮らしを楽しむ

小さなお子さんのいるご家庭や、ご年配の方の中には、遠くまで出かけるのは大変…と感じている方も多いはず。すぐに歩いていける距離に友人が増えると、何気ない日常に笑顔が飛び交います。



#### 課題を解決できる

悩んだとき身近に相談できる人がいて、また周囲からも見守る視点があること。そんな人と人のつながりがあることで、災害、犯罪、孤独な子育て、人の無縁化など多くの社会問題の解決につながります。



#### 建物・施設 管理の質を高められる

マンション管理の現場にて、議論がしづらいという声をよく聞きます。それはマンション内に良好な人間関係が築けていないから。あるイベントで顔を合わせたり、日頃から挨拶を交わしたりする仲間ならば、より建設的で活発な議論がしやすくなり、スムーズな合意形成につながります。



発行元：一般社団法人まちにわひばりが丘  
編集長：高村和明  
制作：岩穴口康次、渡邊篤子、浅見美沙（以上まちにわ師）  
表紙：平田武（写真、まちにわ師）  
渡邊篤子（詩、まちにわ師）  
問合せ：info@machiniwa-hibari.org  
WEB：http://machiniwa-hibari.org  
発行日：2017年5月31日

メールマガジン無料配信中！  
ご登録はこちらから

月2回「まちにわひばりが丘」の情報や、イベント情報などをお送りしています。左のQRコードから登録、または、件名を「メールマガジン登録希望」としてinfo@machiniwa-hibari.orgまでご連絡ください。



法人賛助会員 / 広告掲載

募集中！

詳しくはお問い合わせください

困ったときに助け合えて毎日がもっと楽しくなる街に

まちにわからのお知らせ

一緒に野菜を作ってみませんか？



まちにわひばりが丘では、利用者全員で畑作業を行う「共同菜園」を運営しています。ひばりテラス 118 のコンマ・コーヒーのテラス席の西側、約 50 ㎡の畑を協力しながら耕します。

- 全くの初心者の方でもプロの指導があるので安心！
- 必要な道具はすべてひばりテラス 118 でご用意しております。手ぶらでお越しいただけます。
- 収穫した野菜を皆さんで料理してプチパーティーも！
- 広い畑で色々な種類の野菜作りが経験できます！

利用料： SAKURA 区分の方：月 3,000 円 / 年間 30,000 円 (1 家族) 　その他の区分の方：月 4,000 円 / 年間 40,000 円  
活動日： 第 2、第 4 土曜日 10:30~12:30 2 月末まで  
定員： 10 世帯 ※詳しくはホームページをご覧ください。

共同菜園の感想

親子で土に触れることで、作ること、食べることが楽しくなれば、と思い参加しました。地域の様々な年齢層の方々との関わりも広がりました。共に育てることで、人との繋がりを深めることができたように思います。土作りや日々の手入れを通して農家の大変さを改めて実感し、日々の食への感謝がふかまりました。また、畑から食卓への距離が近ければ近いほど美味しいことを体験することができました。近所の方と一緒に作業も楽しかった！！

まちにわ共同菜園  
2017 年度ご利用者様募集中

ジャガイモ収穫体験  
in レイモンドファーム

今年度の菜園講師岩崎さんの畑「レイモンドファーム」にジャガイモ掘りに行きましょう！収穫したお芋のプレゼントもあります！



日にち：6月10日(土)  
時間：10:00~12:00 ※12:00~は任意で昼食会(軽食の準備あり)  
集合：西東京市住吉町 6-12-8 岩崎農園 (はなバス バス停「横山道」のすぐ横です。)  
参加費：大人 1 人 1,000 円、中学生以下無料 (ジャガイモのプレゼントあり)  
持ち物：着替え / タオル / 水筒 / 長靴 / 軍手 / お弁当(任意)  
定員：10 組

Tel: 042-452-5758  
Mail: info@machiniwa-hibari.org

菜園講師からの一言

始めまして！西東京市住吉町で先祖代々農業を営んでおります岩崎と申します。農業というハードルの高いものと思われるかもしれませんが、土を耕し自然の力をお借りしながら野菜づくりをするということもやりがいのある仕事です。じっくりと時間をかけ、日々野菜の状態を観察し、わが子のようにお世話をして美味しい野菜が収穫できたときの喜びはひとしおです。また自然を相手にしていると、季節の移り変わりを肌で感じることもできて、とても気持ちが良いものです。是非楽しく野菜作りに取り組みましょう！



イベントレポート

ひばりが丘団地自治会主催  
さくらまつりが開催されました！

4/2(日)に開催された、ひばりが丘団地自治会主催の「さくらまつり」桜を楽しむ大勢の方で賑わいました。今回ひばりが丘フィールズ3棟の有志の方々では、有事の際の炊き出し訓練の一環として焼き芋を一斗缶で作り、販売しました。団地や近隣にお住まいのみなさんと交流しながら、防災にも着目した取り組みとして、まちにわもサポートさせていただきました。今回参加者された方のコメントをご紹介します！



参加いただいたみなさんのコメント

『フィールズ 3 棟の合同の集まりに加わって 10 ヶ月が立ちましたが、どんどんメンバーも増えて、集まったメンバーは本当に協力的です。美味しい芋を見つけてきてくれたり、焼き方を研究してくれたり。その甲斐あって、あんなにも美味しい焼き芋が出来て、こんなにいろんな世代の人が集まると、凄く楽しいのだと実感しました。これからもっとメンバーが増えたらと思うと楽しみにになりました。』

『有志それぞれが参加できる日に、できる範囲でと、ゆるい取り決めのはずが、事前準備や当日の製造販売まで焼き芋に結構、熱く知恵と力を持ち寄りてしまいました(笑)。焼き上がる前から行列が出来て瞬間に売り切れる…なんて報われる喜びもあり。ひばりが丘に来て一年ですが日々楽しく過ごしているのが嬉しいです。』

『一斗缶に炭火を起し濡れ新聞とアルミホイルで包んだ紅あずまを投入し、後は約50分程度焼き蒸らすとホクホクの焼き芋の出来上がり。なかなか火が持続せず大変でした。最後の片付けは一斗缶に3度4度と水浸しになるまでシャワーを掛け、次回に使える炭を峻別してから終了しました。風や燃えやすいゴミなど、条件が揃うと人の居ないところで火が燃え広がる危険があり、念には念を入れ、でした。』

AERU EVENT

資源の共有という新たな架橋！  
ひばりが丘と笠間をつないだ「シェアタウン」レポート

「シェアタウン」という言葉を耳にされたことはあるでしょうか。まちにわひばりが丘では、茨城県笠間市と、コスモス・シニア、慶応大学 SFC 研究所が協働で取り組んでいる「シェアタウン」という取り組みに協力しています。「シェアタウン」は、都心と地方都市にある「まちの資源」を「共有」できるように企業、自治体、地域団体などが連携し、各地域の課題解決を目的としています。今回は、1月末に実施された笠間市への見学ツアーや、ひばりテラス118でのイベントの様子を、参加した3名のまちにわ師がレポートします。



まちのファンづくりを  
体験できたツアー



1月29日~30日の2日間、まちにわ師や、他の地域で街づくりなどに携わっている方々と笠間市に視察ツアーに行きました。ツアーでは、「笠間焼」や滞在型市民農園「クラインガルテン」、酒蔵、無農薬の稲作農家など笠間市の特長である施設などを見学し、箱モノを無理に作り出すのではなく、今、まちにある「モノ」、そしてその「モノ」を活かす事ができる魅力的な「ヒト」を中心に街の魅力を市内外に発信し、ファンづくりをしていく、そんな笠間の姿を体験できました。

まちとまち、  
人と人の交流を楽しむ

3月25日、ツアーに続く第2弾の企画として、ひばりテラス118で「ひばり一かさまシェアタウンTALK & PARTY 2017春」というイベントが開催されました。第1部のトークショーは、慶応大学の小島教授による「シェアタウン構想」プレゼン、三鷹一

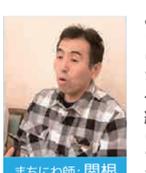
笠間の2地域居住を始めた堀池氏による  
「笠間の魅力」紹介、そして「まちの資源」と題したパネルディスカッションが行われました。また、第2部として、笠間の新鮮な野菜を中心とした料理、名産の栗を使ったデザート、笠間の蔵元「磯蔵酒造」の味深い日本酒が振る舞われました。最後に、ひばりが丘の住民が選んだ「シェアタウンアイデア」の投票結果発表。事前のツアーで視察した笠間と、ひばりが丘のそれぞれの資源と課題解決を合わせ合わせたアイデアに、みなさん関心を持ってくださいました。

街、夢、みらいを  
一緒につなぐひばりが丘

この「シェアタウン」という取り組みをひばりが丘で実現できる可能性はあるのでしょうか。ひばりが丘は、長く住まわ



れている住民と新たに引っ越してきた世帯、また、シニア世代と多くの子育て世代とその子どもたちといった、新しい発信資源を生み出せる可能性が十分に期待できるまちとして、新たなコミュニティを形成できる素地があります。また、地理的にも都心に程よく近く、中位の立ち位置がゆえの都心部と地方都市を結ぶコンタクトタワーとして、他の地方都市と連携して、ひばりが丘が「あなたのまち、夢、みらいを一緒につなぐまち」になっていく可能性が高いのではないのでしょうか。



ひばり一かさま シェアタウンアイデア  
投票結果

1位	笠間陶芸大学校 ひばり分校：65 票
2位	食べるんガルテン、 つくるんガルテン：59 票
3位	空き de 家族の 交換留学：53 票

